

山層雲峡 ビヅターセンター



【エゾナキウサギ～7月】上の写真は高山植物の「メアカンキンバイ」を採食、左下は「地衣類」を採食、真中は「イワヒゲ」を採食、右下はおまけで「かわいらしいおしり」、ナキウサギは巣の近くの植物は何でも食べるんです。草食で、棲息地によって「草やスゲ」「小枝」「コケ・地衣類」などを採食します。体長は約15cm・体重は約150g・尾長約2cm弱、主に昼行性ですが活動が活発になるのはやはり秋～冬の始まり前、冬眠はしないためたくさんの食べ物が必要になります。標高の高いところに生息していますが、写真は「大雪山系・黒岳」から20分程下った「ポン黒岳」周辺。中々その姿を見せませんが、糞を見つけるか、鳴き声のする場所で待つか、ナキウサギを探しに是非黒岳へ。



**【シマリスの巣材集め～6月】**  
 シマリスが地衣類を集め、せっせと巣穴に運び込んでいました。口の中からはみ出し、地面に着くほどの量を何度も何度も・・・。  
 夏にかけて数頭の子が産まれますが、昨年はその姿が黒岳石室で見られました。さて今年はいかに？



**【排尿～7月】**  
 キタキツネが北鎮岳周辺の水場で排尿をしていました。キツネはどこにでもいますし、しかも、どこにでも排尿・排泄をします。お水は必ず煮沸してから使用するようお願い致します。

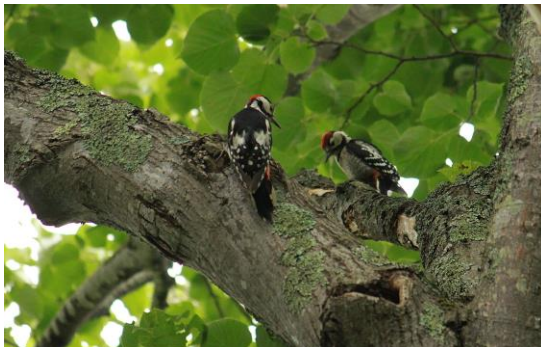
**【ギンザンマシコの求愛給餌～7月】**雄が雌に餌を与えることを言います。つがいの「きずな」を強める役割があることと、雌に対する栄養補給という意味も持ちます。



給餌後はすっかり仲良し！



仲良くハイマツの雄花を採食～



**【アカゲラ巣立ち～7月】**  
 右が巣立ったアカゲラ。ん？オオアカゲラでは？幼鳥時は前頭部～頭頂部が赤いのです。成鳥につれ、赤い部分が減少し頭頂部は真っ黒、後頭部は真っ赤になります。それにしても紛らわしい・・・。

**【キビタキ～7月】**大きさは約1.4cm、スズメとほぼ同じ大きさです。観察難易度も低く、比較的容易に見ることができます。鳴き声が特に複雑ですが「森の自慢のピッコロ奏者」などと呼ばれています。黄・オレンジが特に綺麗で、その容姿に、森の中で出会うと「どきっ」とするほど美しいです。雄同士の縄張り争いが大変に激しく、空中でもみ合った後に地上に落下してまでも「もみ合い」ます。くちばしをパチパチ鳴らしたり、ブーンという羽音のような声を出して追い回します。巣の近くでは、なんと雌も争いに参加します。何とも気の強い鳥なのです。



**＜ オオウバユリ 一回の開花で枯死する多年草 一回繁殖型多年草 ＞～7月**

オオウバユリの葉の枚数は、年を経て個体の成長が進むとともに増えていきますが、その枚数が5枚程度になると、翌年、開花します。ただ、毎年、葉が一枚ずつ増えたとして、芽生えに要する1年と葉が5枚以上に達する期間を合わせると、少なくとも6年以上かかる計算です。その年の条件によっては、必ず葉が増えるとは考えづらいため、開花まではおよそ10年かかると言われています。オオウバユリは、長年かかって鱗茎に蓄えてきた貯蔵物を開花に全て使ってしまいます。このため、開花後、もとの鱗茎はなくなり、個体としては多くの種を残して一生を終えます。しかし、花茎の基部に小さな鱗茎が数個残されるため、株としては生き延びます。花期は7月に集中しますが、咲きさえすれば、花粉が他の個体の花に運ばれ、子孫が残せる可能性があります。鱗茎はデンプンを含み食用にできます。北海道ではアイヌにより「トゥレブ～オオウバユリ」の名で食用にされ、アイヌ民族が用いる植物質の中では穀物以上に重要な位置を占めていたそうです。



町内の道路沿いや公園内などにたくさん自生しています。



【仔ギツネ～6月】危なく車の犠牲になりそうな場所にいる仔ギツネ、どうやら親がいないようです。一般的には3～5匹の出産数ですが、見かけた時は2匹、数日後は1匹に、さらに数日後にはその姿はありませんでした。やや離れた場所に「疥癬病」(かいせんびょう)を患ったキツネが住み着いていましたが、自ら仔との別れを決断したのでしょうか？推測の域をでませんが。②左下の仔ギツネは、写真には3匹写っていますが計9匹の仔、水田と石狩川の間にある巣穴、明らかに外敵には襲われづらい場所と常に監視をしている親ギツネ。①親のいない仔ギツネの巣は写真左側の崖下、相反する2例のキツネを見ていると、何ともせつない気持ちになります……。\*疥癬病については下に記述します。

疥癬病とは？「ヒゼンダニ」が原因の寄生虫病です。皮膚の中を喰い進みながら全身に回り、凄まじいかゆみと皮膚がボロボロになり、最終的には息絶えてしまう恐ろしい病気です。感染力が相当強く【近くにいるキツネの家族は当然ながら】周辺のキツネにまで感染し姿を見かけなくなる程その数が激減してしまう感染病です。残念ながら原因は人間。人間がキツネに餌を与える行為が、写真のような光景を生んでしまいます。多くはお菓子類のようですが、キツネにとってこの甘さは下剤となってしまう、結果、免疫力が低下し体の中は虫だらけとなってしまうのです。上記のキツネは、尾から毛が抜け始めています。次第に全身に回り、眼も見えなくなり歩くこともままならず。わずかな可能性を信じ、仔を守ったのでしょうか？



【アオダイショウ～6月】6月後半、エソモモンガの巣穴の確認に出かけたところ、樹洞を完全に巣材でふさがれていました。あまり目にしない光景であったため、ゴジユウカラが巣のリフォーム中？と思いきや、数日後に確認したところ、アオダイショウが仔を産んでいました。中にいたモモンガは残念な結果でしたが、これから複数の子が顔を覗かせます。



【ヤマシギ～6月】ヤマシギが繁殖期を迎えたようです。ハトと同程度の大きさで雌雄同色のヤマシギの生息地は、他のシギ類とは異なり森林です。森林の地上に営巣し、通常4個の卵を産みます。抱卵は雌のみで行い、抱卵日数は約20日間。夜行性で中々お目にかかれませんが、餌(ミミズ)を求めて林床に出てきたようです。



折って切って開いたら、あらすテキ♪  
子供から大人まで楽しめます。  
参加自由・無料/申し込みは不要です



■大雪山フィールドノート写真展■

(日時) 常時展示

皆様のお越しをお待ちしております。

【場所】ビジターセンターレクチャールーム

(内容) 一年を通じた大雪山の自然を写真と解説文で紹介しています。

遊んで来て  
KIDS

- \*季節の観察会—8/18・9/8・10/6 (開催地都度決定)
- \*紅葉散策・紅葉谷—10/4・5・6・11・12・13・14 (午前のみ)
- \*スノーシュートレッキング—銀河の滝・ニセイチャロマップ  
1/18・19・25・26・2/1・2 (午前午後の2回)

★★観察会は事前申し込みが必要です★★

★★詳細についてはお問合せください★★

シマリスのカレンダー

上川・層雲峡気象↓		5月↓	
5/25	層雲峡日最高気温25℃ 上川町27.6℃	5/21	オオルリ 層
5/26	層雲峡日最高気温30℃ 上川町33.3℃ 上川町5月観測史上1位	5/23	アカハラ、オオルリ、アカショウビン 上
5/27	上川町日最高気温31.2℃ 5月観測史上2位	5/24	エゾリス、カッコウ 上
5/29	大雪山連峰一帯降雪	5/26	エゾハルゼミ 層
5/31	上川町 月降水量少 51mm 5月観測史上4位	5/27	ツツドリ赤色型、アオダイショウ・モモンガの巣穴に入る 上
5/31	上川町 月間日照時間多 218.7時間 5月観測史上1位	5/31	レンズ雲、エゾライチョウ 上
6月↓		6月↓	
6/16	上川町日最大瞬間風速20.5m/s 6月観測史上2位	6/1	ヤマシギつがい 上
7/5	層雲峡 日最大10分間降水量 17.5mm 7月観測史上1位	6/2	アカショウビン 上
	層雲峡 日最大1時間降水量 48.5mm 7月観測史上2位	6/7	アカショウビン 上
黒岳気象他↓		6/9	オシドリ・エクリプス 上
6/1	八合目・九合目標柱全露出(石室全露出)	6/10	仔ギツネ、アカハラ給餌、シジュウカラ給餌 上
6/14	七合目標柱50cm出	6/12	エゾライチョウ、熊フン 上
6/17	大雪山連峰一帯降雪有	6/13	クマゲラ 上
6/18	翌日、とけた雪が凍り付き草木に張り付く	6/14	彩雲、アオバト群れ、カワガラス給餌 上
6/19	ボン黒 ヒゲマ	6/16	ムクドリ給餌 上
6/20	七合目標柱約1m出、シマリス巣材集め	6/21	アオダイショウ親子(樹洞から顔を出す) 上
6/22	五合目・ルリビタキ群れ、シマリス 七合目・シマリス	6/30	オオイチモンジ、ムクドリ給餌 上
6/25	シマリス多数、ノゴマ多数、ウスバキチョウ 七合目標柱全露出、ナキウサギ	7月↓	
7/4	ウスバキチョウ、ギンザンマシコ求愛給餌 エゾユキウサギ、ピンズイ、ミカドネズミ ハギマシコ、エゾリス(石室周辺)	7/1	キビタキ 上
7/8	雲ノ平周辺「霜」おきる	7/12	オオイチモンジ 層
7/9	赤石川 ヒゲマ	7/13	エゾリス 上
7/11	ナキウサギ、シマリス、ギンザンマシコの求愛給餌	7/15	アオサギ幼鳥、オオアカゲラ巣立ち 上
7/16	エゾオコジョ	7/16	シマヘビ親子(樹洞から顔を出す) 上
7/17	ナキウサギ(仔)、ノゴマ幼鳥	7/17	オオイチモンジ 層
7/18	頂上にてハギマシコ繁殖(来館者情報提供 写真確認)	7/18	エゾリス 上
		7/20	エゾモモンガ 上

カレンダー期間 05/21-07/20  
観測地：上・上川 層・層雲峡 黒・黒岳



今回の子ビたね

給餌中〜ムクドリ・アカハラ・カワガラス・ゴジュウカラ・ノゴマ

発行：大雪山国立公園



TEL 01658-9-4400 / fax 01658-9-4401

アドレス : <http://www.sounkyovc.net/>

開館時間 6月~10月/8:00~17:30無休・入館無料

11月~5月/9:00~17:00月曜日休(祝祭日は翌日)

2019年07月25日発行 M・K



【大雪山系黒岳〜雲ノ平】7月上旬気温の低下で「霜」がおり開花に影響が出ましたが、その後好天等があり見事なチングルマ群落となりました。

白黒紙面でご覧の皆様へ ~ パソコンをお持ちの方は、上記のアドレスで公開していますので、そちらもご覧下さい。